

集会を開催するのが目的ではない！不安や不満、怒りの声が出てくるのは問題があるから。仲間との討論から本音を明らかにし、夏期交へ持ち込もう！



旭川地方協夏期交実行委員会ニュース

第1号

【発行】
2012年5月22日
旭川地方協
(宗谷・留萌・上川)
夏期交実行委員会
発行責任者
実行委員長 石川貴久

**夏期交まで
あと35日！**

職場の問題を総点検しよう！

メイン
スローガン

「交流し、まなびあい、あらゆる
合理化を跳ね返し、地方自治確立
にむけ産別闘争を組織しよう！」

サブ
スローガン

「労働基本権を確立し、誰もが安
心して働き続けられる職場を実現
しよう！」

旭川地方協夏期交流集
会実行委員会・実行委員
長の石川（上川地本青年
部長・比布町職）です。
来月には、いよいよ夏
期交流集会が開催されま
す。『夏期交流集会運動
』は、単なる集会を開催



▲実行委員長 石川貴久（比布町職）

するのが目的ではありません。私たちがこれまで
、『行革』の名のもとに
コスト削減による賃金切
り下げや人員削減、機構
改革など合理化攻撃を受
けてきました。その結果
、今の職場や生活はどう
でしょうか？ノウハウの
あった上司は退職、新人
はすぐに即戦力、採用抑
制による年齢構成の歪み
などが表れてきていませ
んか？この先、安心して
ゆとりある職場環境でよ
りよい住民サービスを提
供していくためにも職場
で起きている事実と向き
合っていないかなくてはな
りません。夏期交流集会を

「反合理化闘争の集約点
」と位置づけ職場から運
動を進めていくことが必
要です。
これまで、旭川地方協
実行委員会を開催し、各
地本の確定期・春闘の成
果や課題を交流してきま
した。
この間、「独自削減さ
れている単組と比較する
と、まだマシ」「時間外
を出せば、能力が低いと
思われる」「同じ係なの
にどんな業務をしている
か分からない」といった
声が出されています。
しかし、こうした問題
が「なぜ」起きているの
か、本当にそれでいいの



▲現地で準備する実行委員会

か、当たり前のことなの
か疑問の視点から本音や
問題の本質を明らかにし
ていきましょう！
旭川地方協では、『職
場の問題を総点検しよう
』をテーマに運動を展開
していきます。周りの仲
間と率直に話をしながら
、「ぶっちゃけ、どう思
う？」と、本音トークを
築いていきましょう！
最後に全単組の仲間の
結集をお願いします！皆
さんにお会いできるのを
楽しみにしています。



▲少年自然の家。お風呂もあり
ます。



▲隣接する体育館。アリーナ
が全体会場。

参加者1次集約

宗谷地本 30人 (45人)

留萌地本 10人 (20人)

上川地本 60人 (85人)

※ () は、目標人数。

2次集約は、5月末日。

多くの仲間の結集をお願いします！！

優越感に感じて終わっても問題の解決にならない!

「自分のところは恵まれている」

旭川地方協夏期交実行委員会の中で、生活・職場実態討論を行っている。今の賃金について実態を聞くと、仲間からは「独自削減がなくなつて良かった。回復して満足」と声があがった。ほかに「まだ独自削減が続いているところもある。そこに比べればまだまし。自分のところは恵まれている」と話があり、「もらえるものはもらいたい

が、今の賃金で足りるように生活している。ましてや独自削減されて回復した分もあるし」と実態を打ち明けた。周りの仲間からは「独自削減は青年にとつてダメージが大きい。ただでさえ少ないのに0円に近づく」と声も出て、深く話し込むと独自削減されていた仲間からは「我慢して生活するより、我慢せずに生活したい。もう少し自分のためや趣味に使いたい」と本音を明らかにしてくれた。

「労働者が犠牲になる」

みんなで率直に実態討論をしていくと本音も出てくる。賃金の話で言えば「まだまし。恵まれている」と優越感を感じて終わつても問題の解決にはならない。行き着くところは、私たち労働者が犠牲になるのではないか?身近な問題を振り返るところから始めていこう!!

中央交カンパのお願い!!

旭川地方協では、中央交へ各地本から1名ずつ仲間を送り出すため、カンパを行っています。目標30万円をめざしているものの、財政的には非常に厳しいです。地方協で仲間と共有したことを全国の場に持ち寄るためにも全体で仲間を送り出す意思を確認する意味で、基本組織も含めたカンパの協力を再度お願いします!!

現在、原発ゼロ!!

ラストスパート! 新人ローラー作戦!!

国内の原発は、福島原発が廃止され、54基から50基となった。また、国内で唯一稼働していた泊原発3号機も5月5日に定期検査のため停止となり、稼働中の原発はゼロ基となった。

今こそ、原発をなくするという世論を盤石なものとし、核のない安心して暮らせる社会を実現するためにも、署名の上積みに取り組もう!

1000万筆の目標達成をめざし、新人ローラー作戦を全単組で取り組み、署名の協力を求めよう!!

署名行動! 最終集約5月25日まで

219,085筆 (5月8日現在)



5/26・27

札幌市 北海道自治労会館

北海道本部青年部長会議に結集しよう!



▲青年部長会議で意思統一

青年部長会議は、2012春闘中間総括を行い、合理化の集約点である交流集会など当面する取り組みの方針を確立していただく大切な場である。この間、春闘を総括し

ていく中で、仲間からは「役員自身も経験・知識が少なく、具体的に何をすべきかわからない」「集会の講演などで意識が高まるが職場に戻ると声を出せない」「周りから浮くのを恐れてしまう」などの悩みも出されている。こうした状況を打開するためにも、もう一度、丁寧に職場の事実や仲間の声と向きあうことや、仲間のたたかいに学び合うことから、私たちの運動の必要性を確認していくことが重要だ!